

学校教育目標

ふるさとを愛し、こころ豊かに「いま」を生きる生徒の育成
～ 一人ひとりの可能性を伸ばす ～

めざす生徒像

- ◇ 主体的に学び、個性や能力を伸ばす生徒（自主）
- ◇ 多様な価値観を認め、人権を尊重する生徒（共生）
- ◇ 失敗を恐れず、困難や逆境に立ち向かう生徒（挑戦）

重点目標

よりよい習慣を身につけ、安心して自己表現できる学校

- 1 自治意識を高め、互いに学び合う集団を育てる
- 2 主体的・対話的で深い学びを実現する
- 3 新たな課題に、「チームいちじま」として取り組む
- 4 教職員が健康で生徒に向き合える職場環境をつくる

重点目標を具現化するための手立て

1 自治意識を高め、互いに学び合う集団を育てる

- ① 生徒の主体的な活動を通し、生徒の力で「よりよい学校をつくる」意識を育てる。
- ② 生徒一人ひとりに居場所があり、互いに認め合う活動を行う。
- ③ 集会等のさまざまな場面で、話し合いや自己表現する取組を進める。

2 主体的・対話的で深い学びを実現する

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に全職員で取り組む。
- ② 話す指導、聞く指導を進め、安心して自己表現できる「場」をつくる。
- ③ ユニバーサルデザイン化を進め、すべての生徒が参加する授業を進める。

3 新たな課題に、チーム市島として取り組む

- ① 発達特性の理解を深め、特別支援教育の充実を図る。
- ② 個別の支援体制を整え、関係機関と連携しながら適切な支援をする。
- ③ GIGAスクール、コミュニティ・スクール、SDGsの取組を進める。

4 教員が健康で生徒に向き合う職場環境をつくる

- ① ICT機器を有効に活用し、学校業務の効率化および精選を図る。
- ② 定時退勤日の完全実施と勤務時間の適正化に努める。
- ③ 年間予定をもとに、余裕を持ったカリキュラム編成を行う。